



化学プラント設備

○本社所在地：千葉県袖ヶ浦市奈良輪
1058番地1

○事業概要：プラント工事を主軸とする建設業。近年はM&Aにより同業2社を統合。資材の調達・外販体制を強化し、不動産開発へも参入

○常時使用する従業員：89人
(2024年6月期)

○現在の売上高：21.6億円
(2024年6月期)

○法人番号：6040001086772

○Web：<https://shouwa-kikaku.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
森 俊博

現場力・流通・開発の三位一体で、100億円企業へ
地域と未来を支える中核企業を目指す

当社は、化学プラント・配管工事等の施工を通じて現場力を培ってきました。近年はM&Aにより同業2社を統合し、仕入れ・資材調達の内製化と販売体制を強化。本社機能を集約し、営業体制の統一と情報共有を推進しています。今後は、資材流通の商社機能と不動産開発事業の立ち上げを通じて、**施工・流通・開発の三軸で地域に貢献できる中核企業となり、2032年に売上高100億円の実現**を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年までに売上高100億円を目指し、「施工」「資材流通」「不動産開発」の3事業で年平均15%の成長を計画。本社集約・KPI管理・研修センター運用などを通じて、収益構造と組織基盤の両面から達成を図ります。

課題

- M&A統合後の組織文化・業務標準化の推進
- 建設資材流通部門の収益化と営業体制の強化
- 技術継承および若手人材の確保と育成
- 不動産事業の立ち上げと資金投資の妥当性確保
- DX導入と本社集約後の業務プロセスの最適化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

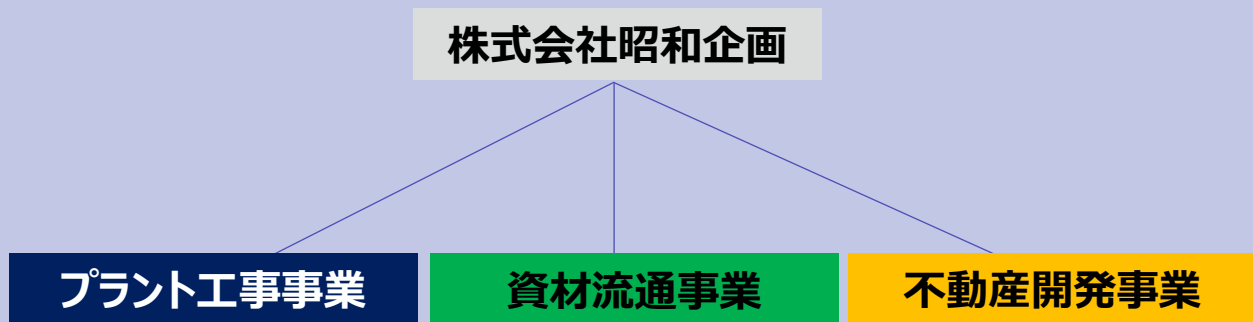
- 本社集約とDX導入で意思決定を高速化
- M&A統合後の調達・販売機能を一体化し流通強化
- 不動産開発事業を新たに立ち上げ、賃貸・分譲の両面で収益化
- 技術継承と若手採用強化による施工力の強化
- 営業・管理部門のリスクリングと研修制度の整備
- 代表直轄プロジェクトを設置しKPIマネジメントを徹底

実施体制

- 代表直轄「統合プロジェクト」設置による経営一体運営
- 管理：本社集約とDX・財務統制
- 流通：調達・販売体制の構築と原価管理強化
- 施工：人員配置最適化と技能研修の実施
- 不動産：開発責任者任命と市場分析体制の整備
- KPI定例会議・研修センター運営・評価制度導入による推進体制を構築

自由記載（例：売上高100億円実現に向けた具体的措置）

プラント工事を中核に、建設資材の外販・流通体制を新たに整備し、不動産開発事業にも参入。
 本社集約・DX・研修センター整備で組織力を強化し、代表直轄の統合PJとKPI管理により、施工・流通・不動産の3軸で安定成長を実現。**2032年売上高100億円を目指します。**



- ◆ 施工力・技術者の強化
- ◆ 商社機能と在庫管理の再構築
- ◆ 賃貸・分譲モデルの両輪展開

